

# BPOPer8

## ファームウェアバージョン BP8-101024-PGM5 対応説明書

コントロールポート 5 接点入力対応

## はじめに

この度は、**BPOPer8**をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に必ずお読みください。  
この取扱説明書は、大切に保管してください。

### 安全上の注意

#### <必ず守っていただくようお願いします>

本装置を安全に正しくお使いいただくため、または機器の損傷を防ぐため、次の記号を使って注意事項を喚起しています。

 <b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例

	 記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左の表示例は「警告または注意事項」があることを表しています。
	 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 左の表示例は「分解禁止」を表しています。
	 記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 左の表示例は「電源プラグをコンセントから抜く」ことを表しています。



## 警告

	本体の内部や隙間に金属片を落としたり、水やコーヒーなどの液体をこぼしたりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
	電源ケーブルを無理に曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。電源ケーブルに傷がついて火災や感電の原因になります。 電源ケーブルに傷がついた場合は使用しないでください。
	本体および AC アダプタは絶対に分解や改造しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。



## 注意

	指定以外の AC アダプタは使用しないでください。 発熱、発火するなどして、火災や事故の原因になります。
	湿気の異常に多い場所や水分のかかる可能性のある場所では、絶対に使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。
	電源ケーブルや接続ケーブルをコンセントやコネクタから抜くときはコネクタ部分を持って外してください。 ケーブル部分を引っ張ると故障の原因となります。
	次のような場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ◆ 異常状態から回復できないとき ◆ 異臭がする、煙が出た、または異常音が発生したとき ◆ 本装置の内部や隙間に、金属片や水などの異物が入ったとき。 異常状態のまま使用すると、事故や火災の原因になります。

次のような異常が発生した場合、速やかにコンセントから電源を抜き、当社へ連絡下さい。

- 煙が出た、においが出た
- 異常な音が出た
- 水や異物が入った
- 製品を落とした
- 製品が破損した

## 使用上の注意

火災や感電を防ぐため、以下のような場所には設置しないで下さい。

- 風通しの悪い場所
- 湿気や埃の多い場所
- 異常に高温な場所
- 熱器具に近い場所
- 十分な固定ができない場所
- 激しい振動のある場所

## お手入れの仕方

- お手入れをする際には、まずコンセントから電源を抜いてから開始してください。
- 薄い中性洗剤を含ませた柔らかい雑巾を絞って使用下さい。
- 濃いアルコール、シンナー、ベンジンなどは塗装などの損傷を招くため使用しないで下さい。
- 化学雑巾を使用する際は、その注意書きに従ってください。

## 制限事項

- 本製品はコンピュータに接続することは出来ません。
- 本製品がサポートする再生可能なファイル形式について、全ての環境で動作を保証するものではありません。
- 本製品を使用することにより生じた直接、間接の被害、データの消失等については、弊社では一切その責任を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や高度な信頼性を必要とする設備、また用途などでのこれらの用途での使用は意図しておりません。このような環境下での使用に際しては一切の責任を負いません。

## その他のお知らせ

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更する場合がございます。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や、誤りなどお気づきになりましたら弊社までご連絡いただきます様お願いします。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございます。
- 本製品は日本国内での使用のみ保証が適用されます。
- 本書及び本製品に使用されている、社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

## 目次

1. 特徴 .....	2
2. 機能 .....	2
3. 仕様 .....	3
再生ファイルについて .....	4
再生ファイルの順序について .....	4
メモリメディアの優先順 .....	5
メディアの挿入時の注意 .....	5
内蔵時計のバックアップ時間について .....	5
時計が動作しない場合の対処方法 .....	5
ハードウェアの保障について .....	6
4. <b>BPOPer8</b> の各部の機能と接続 .....	7
各部の説明 .....	9
メディアカバーの取付 .....	10
VESA マウントアダプタの取付 .....	11
寸法図 .....	12
各コネクタ類詳細説明 .....	14
外部電源入出力ポート接続について .....	15
5. リモコン .....	16
6. 各種設定 .....	19
SETUP MENU – MAIN PAGE .....	19
PREFERENCES メニュー .....	20
PHOTO SETUP メニュー .....	21
TIMER SETUP メニュー .....	22
CONTROLLER SETUP メニュー .....	25
FIRMWARE SETUP メニュー .....	25
7. ファームウェアの更新方法 .....	26
8. フォルダーレポートの方法 .....	27
9. プログラムモードの利用 .....	29
スイッチの接続 .....	29
フォルダ名のきまり .....	30
制限事項 .....	30
10. トラブルシューティング .....	31

## 1. 特徴

**BPOPer8** はメモリーカードに記録された画像、映像、音楽を高品質で簡単に再生できる装置です。また、業務用途として使用を想定し、各所に特徴を持っています。

Full-D1(720x480)での表示可能な MPEG1,MPEG2 の高画質ビデオ、最大解像度 5120\*3840 までの JPEG ファイル、MP3 に対応しており、電源オンで自動再生開始が可能です。

また、高機能な自動運転タイマーを内蔵し、指定時刻に自動的に電源オン・オフを行います。本体の電源のオン・オフにあわせ、外部装置の電源も同時にコントロールする機能を持ち合わせていますので、モニタの電源もあわせてコントロール可能になります。

さらに、ファームウェアバージョンに”PGM5”があるものについては、D-SUB9 ピンのコントロールポートに単純なスイッチを接続するだけで、それらのオンやオフに対応して再生コンテンツを切り替えることを用意に行えます。

表示出力は、一般 TV のコンポジット信号をはじめ、HDMI、コンポーネント、VGA(RGB)信号出力を持ちます。

コンテンツを格納するメディアは、市販の SD メモリーカードや USB メモリメディアを利用します。収録するコンテンツの長さ、量に応じて幅広い製品から目的に応じた容量のメディアを選んで使えます。メディアの記録形式は、普及している FAT 形式で、パソコンでの書き換えはもとより、デジタルカメラで記録されたデータもそのまま表示可能です。

**BPOPer8** はコンパクトな大きさと、据え置きや、壁面への取り付けもできるばかりでなく、液晶モニタのマウンタ規格である VESA 規格の穴位置に準拠したマウンタも用意しているため、パソコン用液晶モニタの背面に装着して使用することもできます。液晶モニタの背面にマウントした使用方法はユーザが前面から見た場合、電源線のみが若干見え隠れするだけの一体型のようになり、設置場所にも困りません。

このように、**BPOPer8** は教育分野、広告分野、ホームエンターテイメント、ビジネスプレゼンテーションの各分野において、大変有効にご利用いただけます。

## 2. 機能

**BPOPer8** は、非常に高性能に作られており、下記の機能を備えています。

### ■ ソフトウェア面

- WAV,MP3, JPEG, MPEG-1, MPEG-2 (720x480 pixels) の再生・表示に対応。  
※静止画:VGA 推奨データ解像度:映像出力解像度に合致したピクセル数  
※動画:VGA 推奨データ解像度 640x480pixels または 720x480pixels  
※音声:推奨ビットレート 128Kbps
- 装着してすぐ再生できるプラグアンドプレイ
- SD メモリーカードを通してファームウェア更新が可能

### ■ ハードウェア面

- HDMI、コンポジット、コンポーネント、VGA、ステレオ音声出力（コンポーネント出力は要オプション）
- SD メモリーカードに対応 (MiniSD、MicroSD の場合、変換アダプタ使用でのご利用は動作保証対象外となります)

### 3. 仕様

対象メディア	SDメモリーカード(SDHC 対応)、USBメモリー ※1			
内蔵カレンダー時計	内蔵リチウムバッテリーによるバックアップです。バックアップ寿命は約3年 精度 -25℃～80℃温度補償機能内蔵 月差±10秒以内			
入力ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SDメモリーカードスロット</li> <li>● USBスロット※1</li> <li>● 外部赤外線リモコンポート</li> </ul>			
出力ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンポジットビデオ(RCA)</li> <li>● アナログRGB (D-Sub High Density 15Pin)</li> <li>● コンポーネント(YpbPr)※2</li> <li>● HDMI※3</li> <li>● ステレオオーディオコネクタ(RCA)</li> <li>● ステレオスピーカコネクタ 2W+2W@4ohm</li> </ul>			
入出力ポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コントロールポート</li> <li>RS232C※4</li> <li>GPIO 5点</li> <li>5V出力</li> </ul>			
音声出力調整	リモコン			
入力電圧	DC8-18V 付属アダプタはDC12V			
消費電力	スピーカ非接続時		2W+2Wスピーカ接続時	
	HDMI非接続	HDMI接続	HDMI非接続	HDMI接続
	2.2W	3.2W	5.2W	6.2W
設置方法	据え置きまたは、マウンタを介しモニター・TVのVESA規格マウント75mmピッチまたは100mmピッチ穴を利用し背面に固定			
サイズ(幅*奥行き*高さ)	146(L)x90(D)x22(H)mm 突起部は除く。			
重量	210g			
動作温度	-10℃～60℃			
保存温度	-25℃～80℃			
動作湿度	RH 20-90% 結露なきこと			
RoHS対応状況	RoHS指令対応済			
付属品※5	ACアダプタ、リモコン、メディアカバー、VESAマウントアダプタ、RCAケーブル			

※1 MiniSD、MicroSDの場合、変換アダプタ使用でのご利用は動作保証対象外となります

推奨メディアタイプ

Class4以上

パナソニック RP-SDPxxGJ1K / RP-SDWxxGJ1K シリーズ

東芝 SD-E0xxG4 / SD-E0xxGX シリーズ

サンディスク エクストリーム / ビデオHD シリーズ

USB端子はMass Storage Classのメモリーデバイスに対してのみ対応しています

※2 オプションのBP-VADPTが必要です。なお、BP-VADPTの第2コンポジットおよびS-Video出力は利用できません。

※3 HDCPには対応していません

※4 カスタマイズオプションです。標準状態では機能しません。

※5 販売時のパッケージにより異なる場合があります。

#### オプション機器

BP-VADPT コンポーネント出力を使用する際に使います。

BP-POWER8 外部電源入出力ポートを使用する際に使います。50cm長で反対側端は未加工です。

BP-SPK8 スピーカポート用ケーブル。50cm長で反対側端は未加工です。

オプション機器は標準コネクタを採用していますのでユーザ自身でも製作可能です。

操作方式	電源オンによるコンテンツの自動再生開始と、赤外線リモコンを用いた OSD (オンスクリーンディスプレイ) による操作
対応再生フォーマット	MPEG 1, MPEG 2, MP3, WAV, JPEG (対応拡張子: jpg, jpeg, mp3, wav, mpg, mpeg) AC3 コーデックは対応していません。適宜 MPEG Layer II 音声に変換するなどしてご利用下さい。 HD フォーマットには対応していません。DVD 解像度である 720x480(Full-D1)まで対応しています。
写真再生モード	自動スライドショー, スライドショー間隔設定, 画面切り替え効果設定
自動再生モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全ファイルの自動再生</li> <li>● 静止画スライドショー+音楽再生(BGMとして動作し、動画ファイルを無視)</li> <li>● 静止画スライドショー+動画再生(音楽ファイルを無視)</li> </ul>
タイマーモード	内蔵カレンダー時計に従い稼動時間を設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>● オン・オフ時間設定 7 セット</li> </ul>
プログラムモード	5 つまでの外部コントロールポート信号のオン・オフに対し、再生フォルダを指定可能。

## 再生ファイルについて

- メディア容量に問題のない限り、MPEG2 形式の利用をお勧めします。サポートしている各種動画ファイル形式のうち、MPEG2 が最も高い再生品質を発揮します。
- 本製品がサポートする再生可能なファイル形式について、全ての環境で動作を保証するものではありません。
- AC3 音声コーデックはサポートしていません。MPEG Layer II 音声コーデックをご利用下さい。
- 表示解像度より高い画素数の JPEG 画像は、本体内部のスケーラ機能により、表示解像度にフィットするように縮小した形で表示されます。このため、大きなピクセル数の JPEG ファイルを用意しても表示が向上することはありません。大きなピクセル数の画像は読み込みに時間がかかり全体のパフォーマンスを低下させるため推奨しません。
- ビットレートの高い動画ファイルの再生につきましてはメディアからの転送速度に依存します。動画ファイルのビットレートに対し、低速なメディアを利用された場合、コマ落ちや、音声の途切れなどが発生する場合があります。
- 高い解像度の静止画の再生につきましてはメディアからの転送速度による遅延の発生と、本体内部での処理にかかる時間遅延の発生があり、指定スライドショー間隔通りに動作しないことがあります。
- ビットレートの高い音声ファイルまたは著しく低い音声ファイルの再生につきましては音声の途切れが発生する場合があります。MP3 ファイル推奨 128Kbps のビットレートでご利用ください。

## 再生ファイルの順序について

- 再生モードで複数のファイルを連続して再生する場合、それらのコンテンツは数字、アルファベットの大文字、小文字の順に再生されます。ファイル名として使用可能な記号にも対応しますが、順番については、**アスキーコード表の順**となります。

日本語ファイル名については、動作不定となりますので半角数字アルファベットの使用をお勧めします。

- abc.mpg, abc.jpg, abc.mp3 のように拡張子以外のファイル名が全く同じ場合、メディア上のディレクトリリスト順が優先されます。ディレクトリリスト順とは一般にメディアに書き込んだ順ですが、ファイルを削除したりするとこれらの順序が変わってきます。

※ このルールは今後変更されることがあります。再生順が重要な場合、上記のような拡張子以外共通となるファ

イル名は避けてください。

## メモリメディアの優先順

**BPOPer8** では SD メモリカードおよび USB メモリの両方が利用可能ですが、同時に装着された状態で起動した場合は、SD メモリカードが優先されます。

同時に装着した状態から SD カードを抜き取ると、USB メモリに切り替わります。

両メディアが装着されていない状態からは、最初に装着したメディアが再生されます。

但し、基本的に起動後のメディアの抜き差しは推奨しません。

## メディアの挿入時の注意

SD メディアスロットは、プッシュプッシュ型と呼ばれるメディアを押しこんで挿入固定、再度押しこんで取り出しの方式になっています。挿入固定された状態では、本体前面からメディアは露出しません。

メディア装着時に、押し込みが十分でないと、挿入固定されずメディアが本体前面寄り飛び出します。

押し込みが不十分で再度押しこんで装着しようとする時など短時間にメディアの抜き差しを行うと、システムがハングアップすることがあります。この場合電源のオフオンによってのみ復旧が可能です。ゆっくりかつ確実にメディアの抜き差しを行ってください。

## 内蔵時計のバックアップ時間について

- 内蔵時計は、リチウムバッテリーによるバックアップです。バックアップ寿命は約 3 年です。
- 新たに設置したり、設置場所を変更したりした際には念のため現在時刻を確認してください。設定方法は、「各種設定- TIMER SETUP - CLOCK SET」をご覧ください。

## 時計が動作しない場合の対処方法

電池の交換や、電圧を確認したにも関わらず、時計が止まったままの状態になっている場合は次の方法で、リセットをしていただく必要があります。

### リセット方法

1. 本体電源を切ります。
2. 本体下部中央付近前面寄りの四角い穴から見える二つのパッドに当たるようにマイナスイオンドライバーなど導電性のものを差し込みショートさせます。一瞬で結構です。ショートさせたまま電源を入れてはいけません。
3. 電源を入れ、動作を確認します。正しくリセットされない場合は上記を繰り返します。

## 制限および注意事項

1. 各種ケーブルの装着は電源の入っていない状態で行ってください。
2. メディアの挿抜においても、電源の入っていない状態での操作を推奨します。メディア挿入が不十分で結果として短時間にメディアの抜き差しが繰り返されるとシステムがハングアップすることがあります。

## ハードウェアの保障について

### 保証期間

製品の出荷日から1年間とさせていただきます

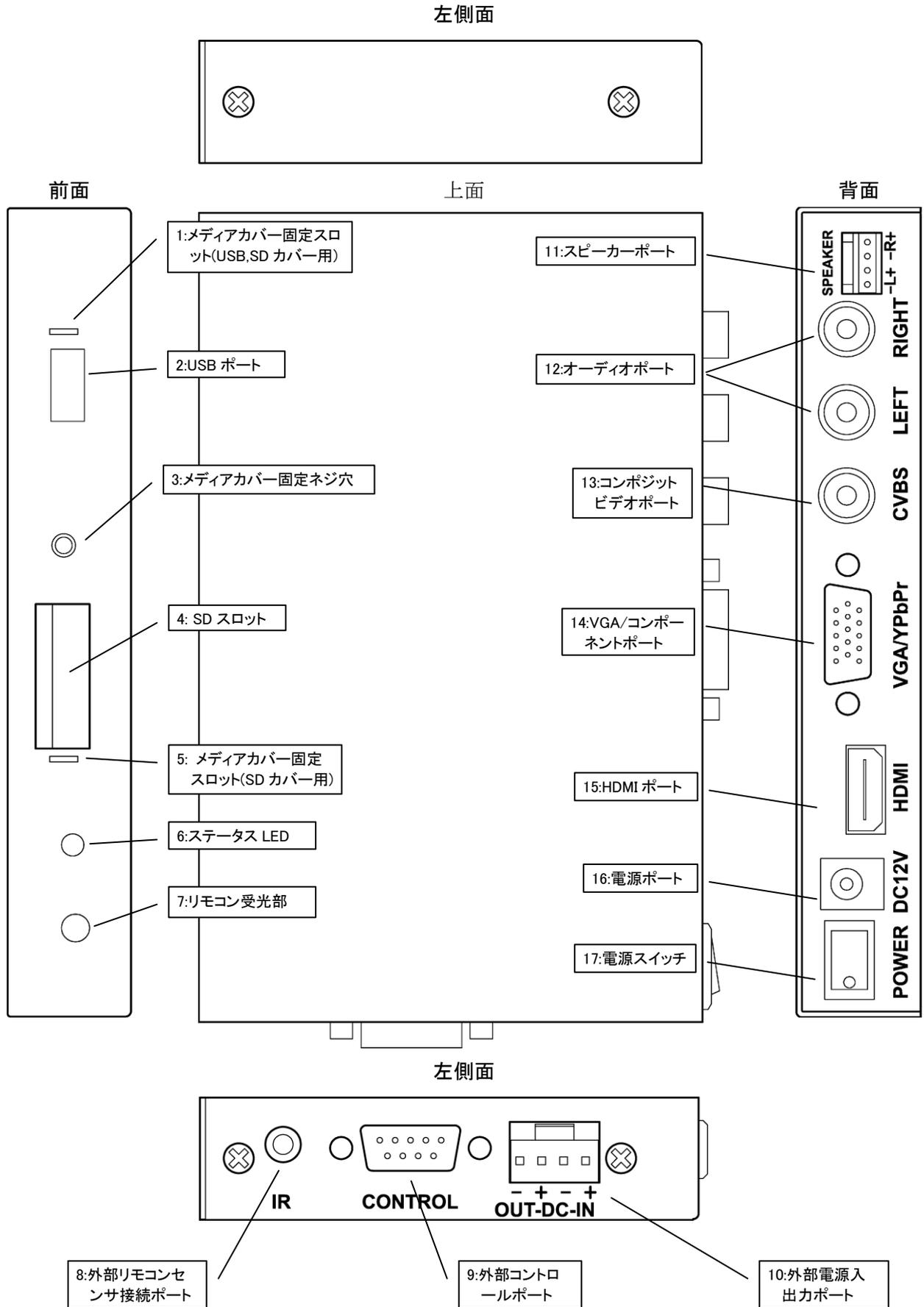
以下の項目に該当する場合には、保証対象外とさせていただきます。

1. 製品裏面に貼付してある製造番号が汚損、損傷、および何らかの理由により確認できない場合
2. 仕様に適合しない不適切なお取扱いによる不具合と弊社にて判断した場合
3. 製品の端子等を含む折れ・曲がり・欠損・焼損およびその他の物理的な破損を弊社にて確認した場合
4. 動作に問題がない場合でも、製品に分解の跡が見られた場合
5. ファームウェア等の書き換えに起因する動作不良と弊社にて判断した場合
6. 機器間の相性による動作不良の場合
7. 製品に接続された他の機器、および不適当なメディア等の使用に起因した事による動作不良、故障、損傷と判断した場合
8. 製造元または弊社サポート以外で、改造・修理・部品交換等をされた場合
9. 製品の仕様として定めてある条件外での環境でご利用頂いた場合
10. 火災、地震、水害、落雷等、その他自然災害および公害による動作不良の場合
11. 製品の仕様に適合しない機器等を接続したことによる破損・故障の場合
12. その他、弊社にて保証対象外と判断した場合

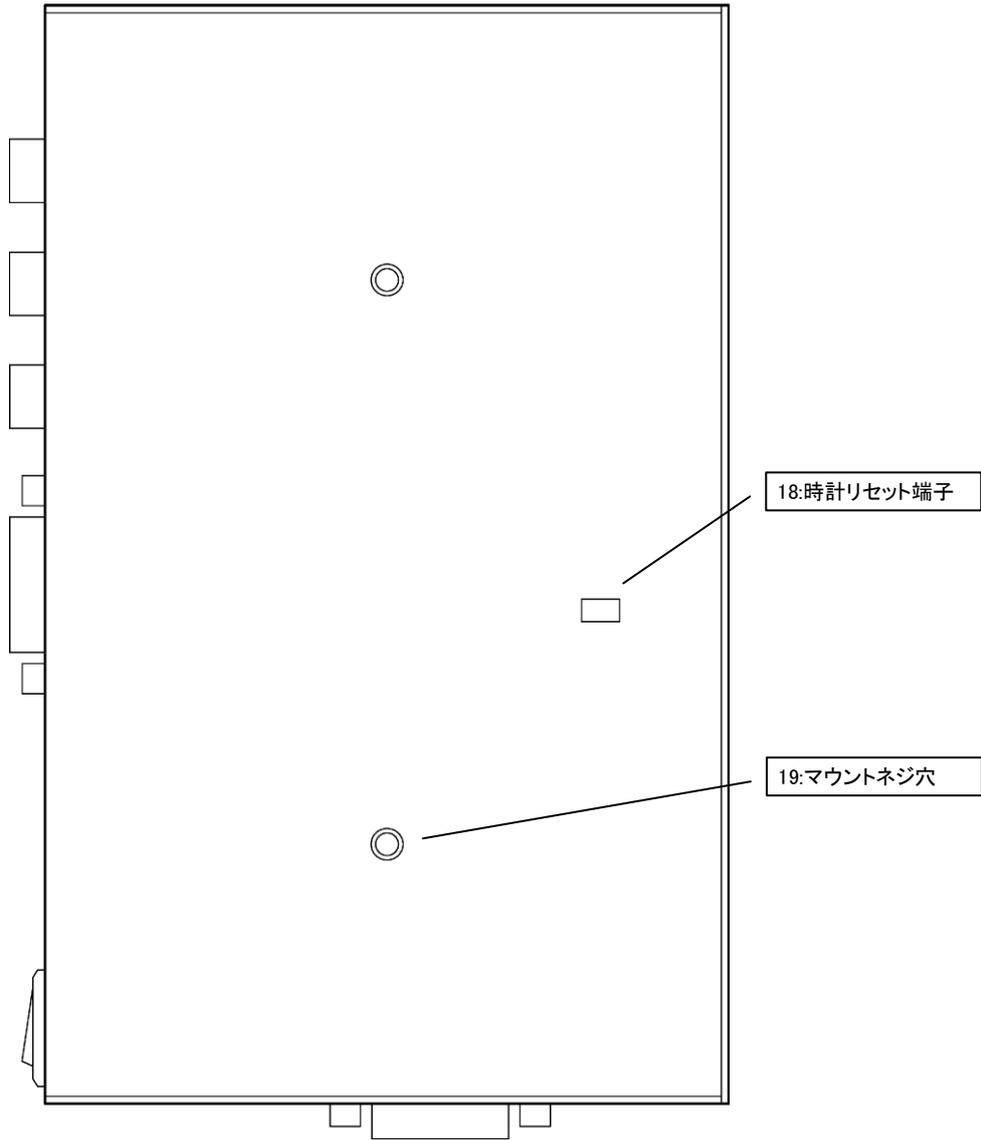
### その他

1. お客様の都合による返品、交換は致しかねます
2. いかなる場合においてもデータの保証は致しかねます
3. 修理中の代替品のご提供は行っておりません
4. 修理受付の際、ご購入時期によっては弊社の判断に基づき修理対応ではなく同等製品への交換(有償・無償)とさせていただきます場合がございます

### 4. BPOPer8 の各部の機能と接続



底面



## 各部の説明

各ポートの信号ピン詳細は ページ 14 各コネクタ類詳細説明 をご覧ください。

番号	名称	説明
1	メディアカバー固定スロット(USB,SD カバー用)	盗難・いたずら防止メディアカバー※ <sup>1</sup> を取り付けるための穴です。USB および SD の両方に対してアクセスできないようにする時に、3 番のメディアカバー固定ネジ穴と共に使用します。
2	USB ポート	USB メモリ機器を装着します。USB メモリの動作サポートはモデルやファームウェアバージョンにより異なります。構成に関わらず、USB Mass Storage Class 以外の機器は使用できません。
3	メディアカバー固定ネジ穴	盗難・いたずら防止メディアカバー※ <sup>1</sup> を固定するためのネジ穴です。
4	SD スロット	SD メモリカードを挿入するスロットです。メディア上部を上にして挿入します。カチッと音がし、内部にとどまる所まで押しこんで下さい。取り出す時は押しこんでメディアが外に出てきたのを確認して抜き取ります。 SD および SDHC カードが使用できます。標準サイズの SD,SDHC カード以外のメモリメディアの利用は保証致しません。また、SDIO カードなど、SD メモリ以外の機器は装着できません。
5	メディアカバー固定スロット(SD カバー用)	盗難・いたずら防止メディアカバー(付属しない構成もあります)を取り付けるための穴です。SD に対してアクセスできないようにする時に、3 番のメディアカバー固定ネジ穴と共に使用します。
6	ステータス LED	動作状態を示します。緑色:電源オン、明るい黄緑色と緑色の点滅:タイマースタンバイ状態を示します。
7	リモコン受光部	赤外線リモコンの受光部です。リモコンはこの受光部に向けて操作してください。
8	外部リモコンセンサ接続ポート	本体をリモコン受光できない場所へ設置する必要がある場合は、別売の BP-IR_EXT リモコンセンサ延長ユニットをここに接続して使用します
9	外部コントロールポート	本体の動作を制御したり、本体から外部機器を操作するために接続するポートです。この機能は、カスタマイズにより構成されモデルにより異なります。詳細は別途カスタマイズ毎の資料をご覧ください。
10	外部電源入出力ポート	外部から電源を受けたり、本体の動作に合わせて出力電力をコントロールするポートです。 16 番の電源ポートとこの外部電源入出力ポートの入力部分とは内部で接続されています。このため、16 番の電源ポートに電源を接続した場合はこのポートの入力部分に常時電力が出力されることとなります。 このポートの出力部分は、17 番の電源スイッチが投入され、本体の再生準備が整うと出力されます。また、タイマースタンバイ状態においては出力は停止されます
11	スピーカーポート	2W+2W@4ohm までのスピーカを直接接続できます。アンプ内蔵スピーカを接続するときは、12 番オーディオポートを利用下さい。
12	オーディオポート	テレビ/モニタの A/V 端子の音声入力ポートやアンプ内蔵スピーカなど音声入力に接続します。
13	コンポジットビデオポート	テレビ/モニタの A/V 端子の映像入力ポートなどコンポジット信号入力に接続します。
14	VGA/コンポーネントポート	テレビ/モニタの VGA 入力端子に接続します。
15	HDMI ポート	テレビ/モニタの HDMI 入力端子に接続します。
16	電源ポート	DC12V の電源入力です。付属の AC アダプタまたは、承認済みの AC アダプタを接続してください。
17	電源スイッチ	主電源スイッチです。背面からみて左側に押すことで電源が入ります。

		なお、10 版外部電源入出力ポートの入力側
18	時計リセット端子	内蔵カレンダー時計をリセットする際に、ここにマイナスイボなど導電性のものを挿入して端子をショートさせます。 通常はこの操作をする必要はありません。時刻の設定をしても動作しない時のみこの操作を行います。この操作をしても時計の動作が確認できない場合は内部のバッテリーを交換してください。 なお、リセットを行うと、タイマー設定もリセットされます。
19	マウントネジ穴	本体を別機器に固定する場合や、付属の VESA マウントアダプタ <sup>※2</sup> を介しモニタ背面に固定する場合に使用します。詳細は 11 ページを参照、

※1 メディアカバーの付属しない構成もあります。

※2 VESA マウントアダプタの付属しない構成もあります。

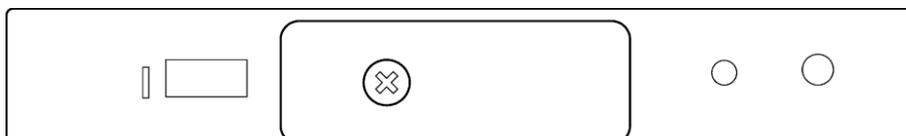
## メディアカバーの取付

メディアカバー<sup>※1</sup>は、メディアの盗難や、いたずらによる交換を防止する目的で使用します。

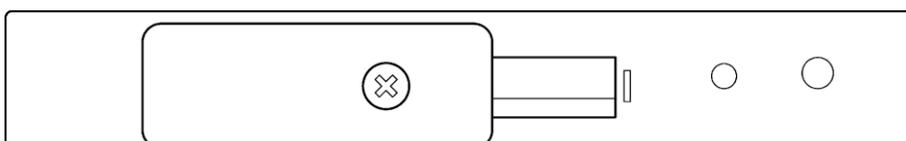
前面のメディアカバー取付穴にカバーのツメ部分を差し込み、付属のネジで固定します。

メディアカバーの取付方向・位置で、USB および SD メモリスロットの両方のアクセスを防止する方法と、SD メディアのみアクセスを防止する方法を選ぶことができます。

### SD スロットのみカバーする取付位置



### SD および USB スロットをカバーする取付位置



※1 メディアカバーの付属しない商品構成もあります。

### VESA マウントアダプタの取付

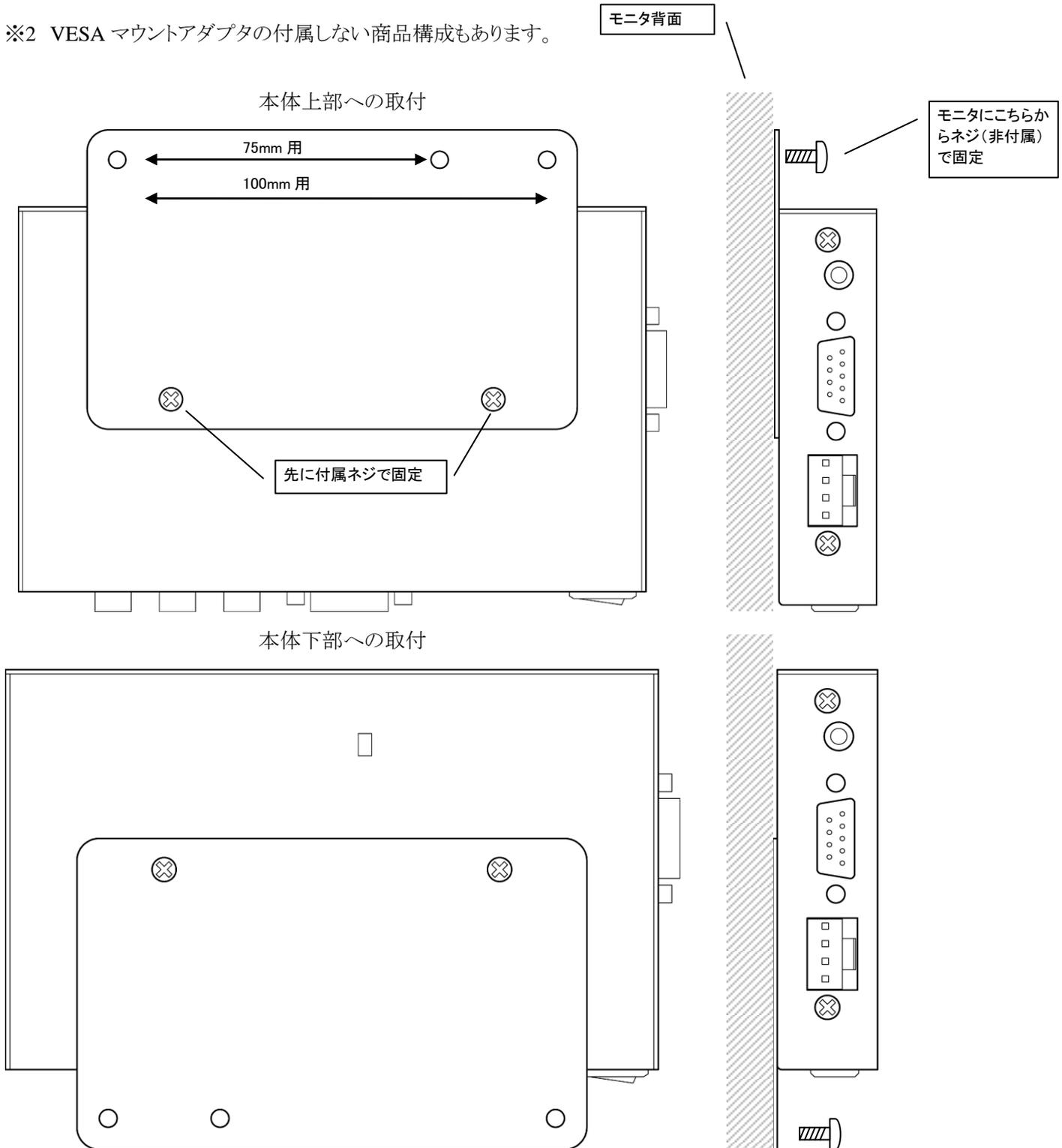
VESA マウントアダプタ<sup>※2</sup>は、モニター側に設けられた VESA 規格の壁掛けあるいはスタンド取付用の固定穴を利用して本体を固定する時に使用します。

VESA 規格 75mm ピッチと 100mm ピッチの両方に対応しており、**BPOPer8** 本体を上下左右自在に取付が可能です。

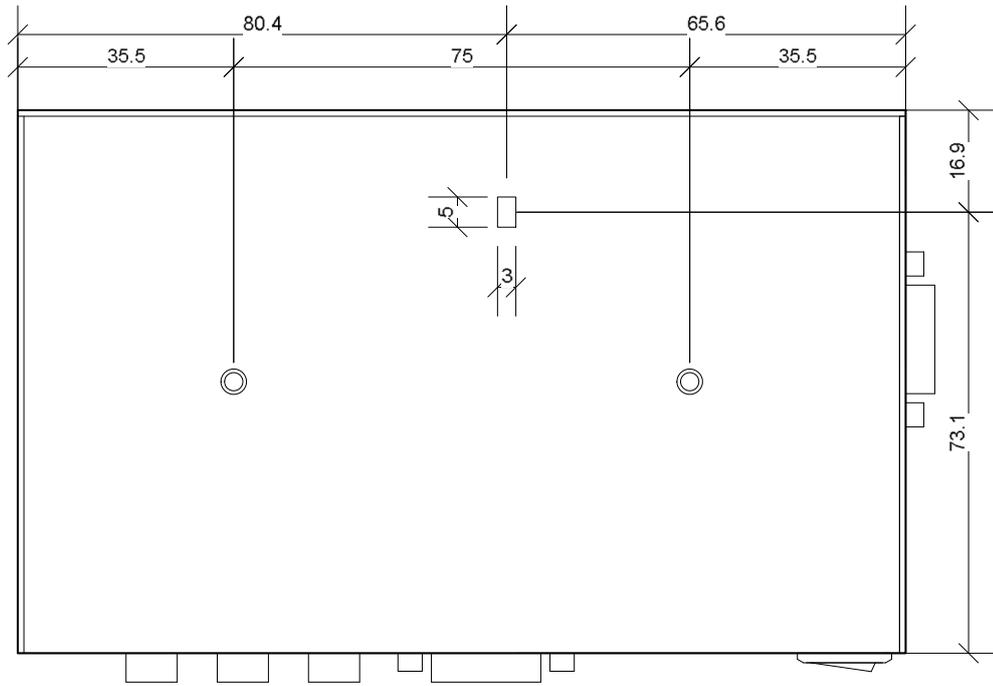
VESA マウントアダプタは、まず付属のネジを利用して **BPOPer8** 本体に固定し、その後、モニターの VESA マウント穴にネジで固定します。モニターに固定するためのネジは対象モニター毎に指定長さが異なるため付属していません。

VESA マウントアダプタ自体の厚みは 1mm です。モニターの指定するねじ込み深さ(長さ)にこの 1mm を加えた数値のネジをご用意ください。

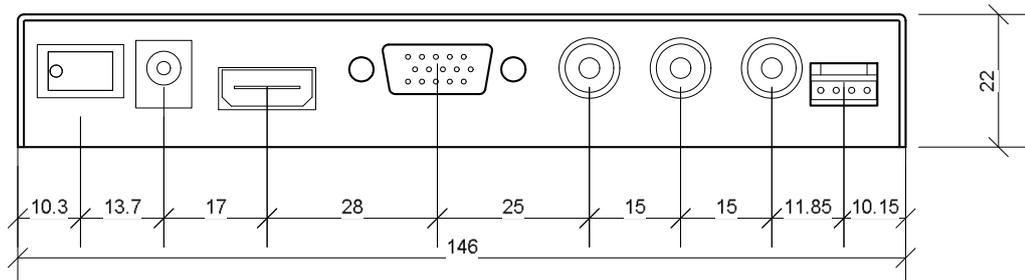
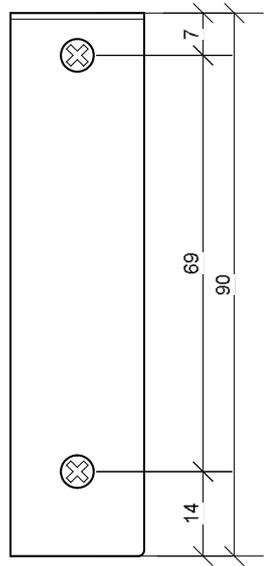
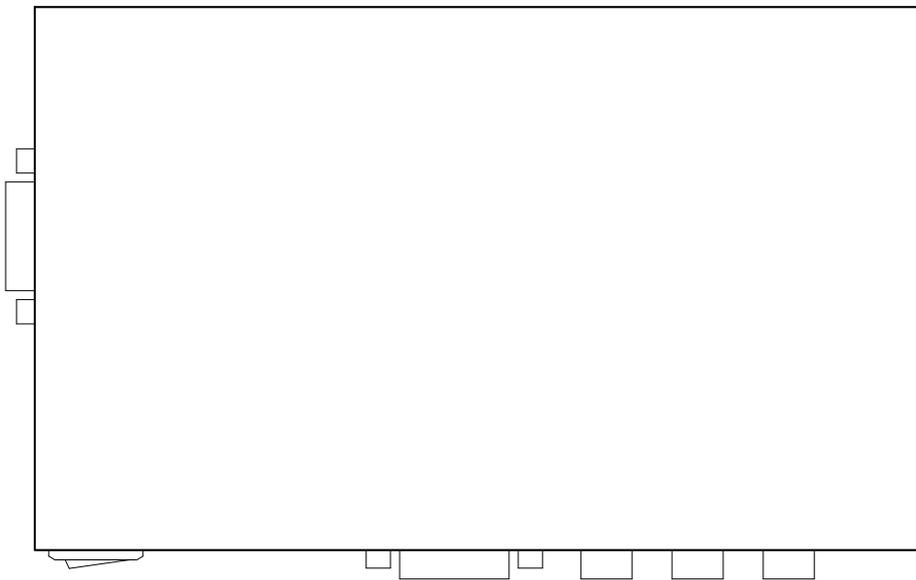
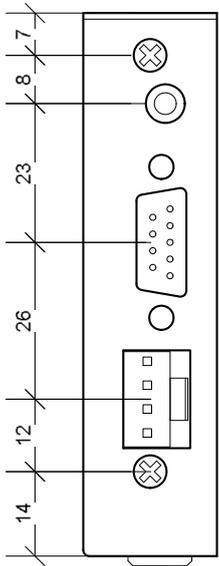
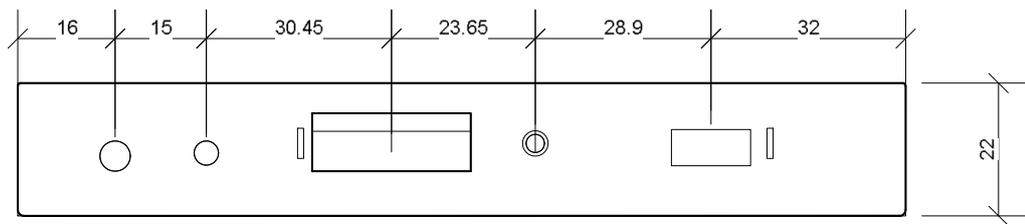
※2 VESA マウントアダプタの付属しない商品構成もあります。

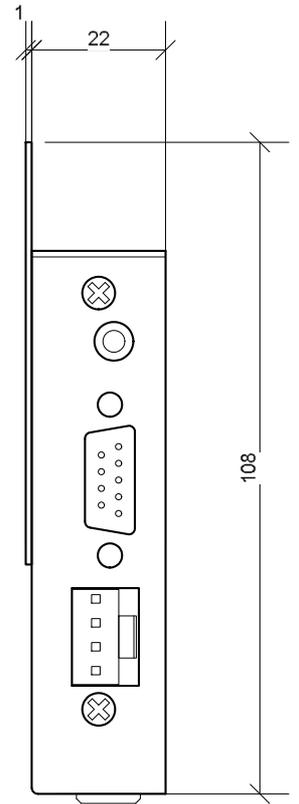
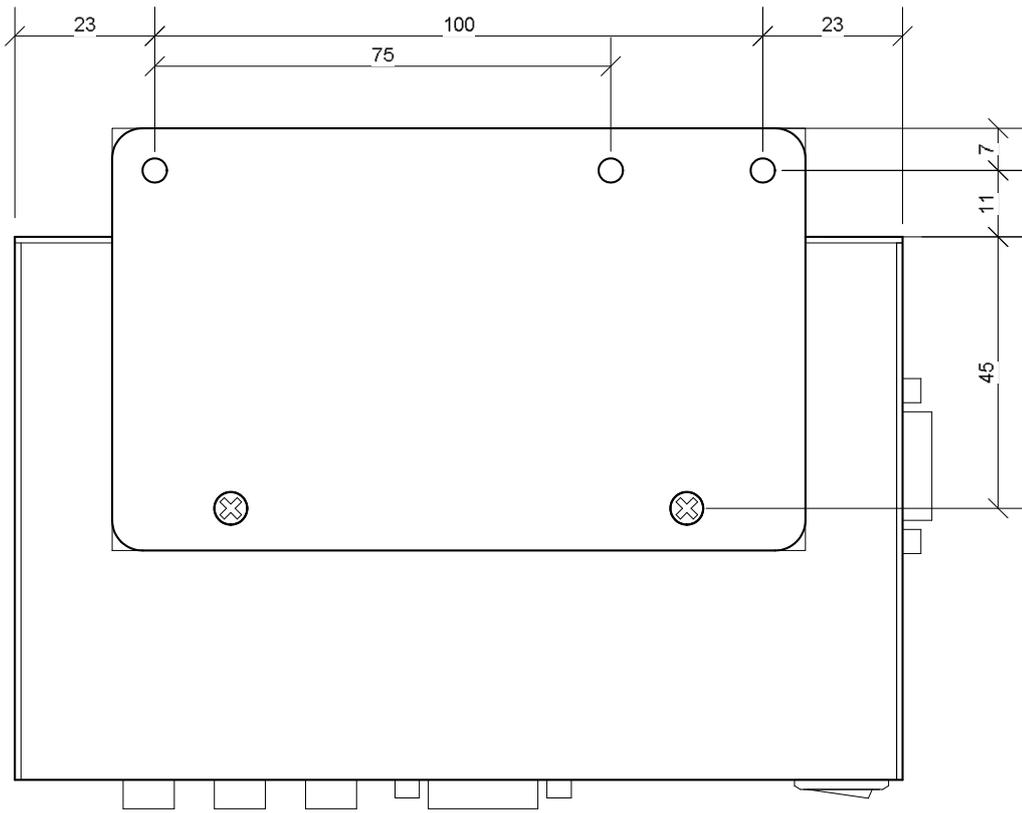


# 寸法图

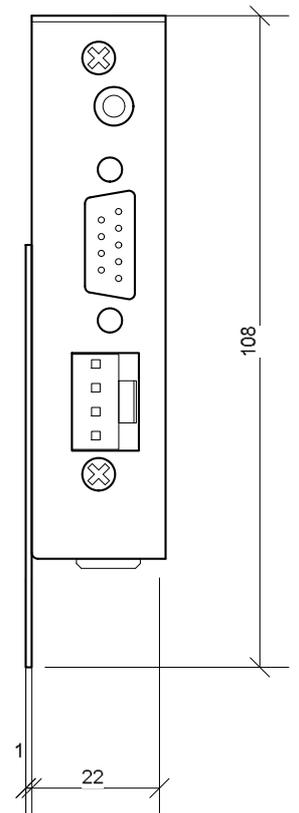
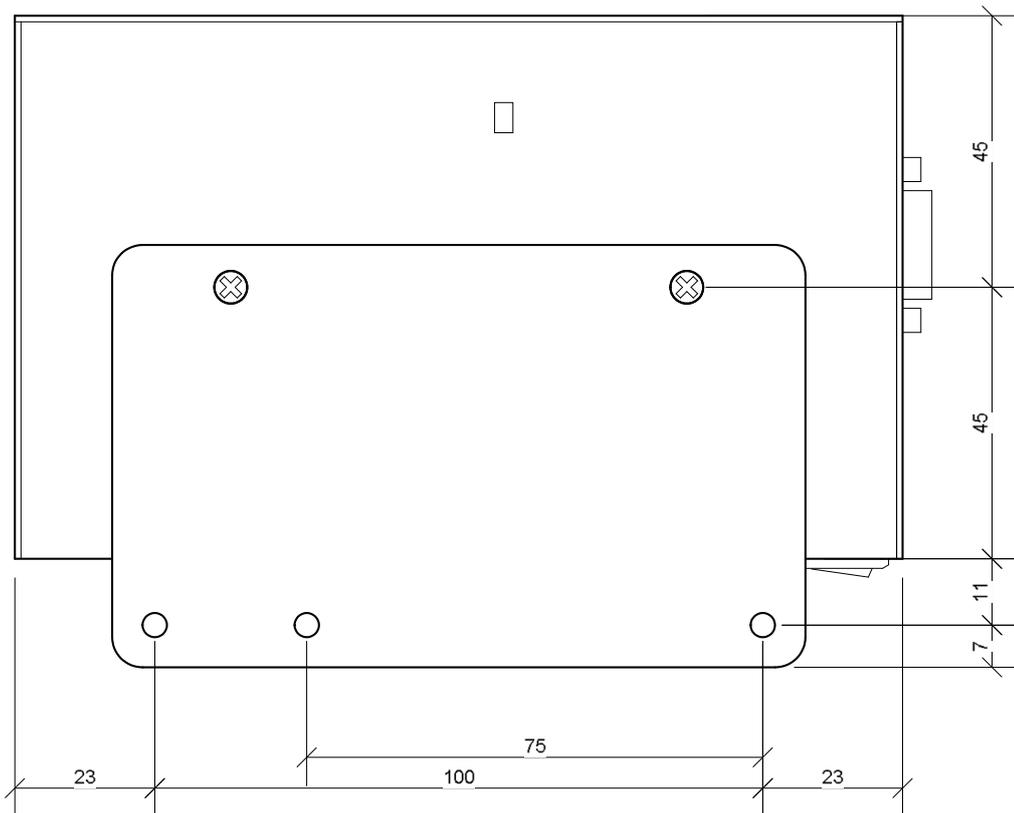


Unit: mm





Unit: mm



## 各コネクタ類詳細説明

番号	名称	機能	嵌合コネクタ	ピンアサイン	備考
8	外部リモコンセンサ接続ポート	外部赤外線ポート	φ 3.5mmステレオミニピン	先端より 5V IR Signal GND	
9	外部コントロールポート	GPIOおよびシリアル	D-Sub9ピンオス	1:5V standby 2:TXD 3:RXD 4:GPIO1 5:GND 6:GPIO2 7:GPIO3 8:GPIO4 9:GPIO5	標準のシリアルポートコネクタとは異なりますので、そのままPC等に接続してはいけません。 5V Standbyは、メイン電源スイッチが入っている状態で常に給電します。 最大出力電流: TBD GPIOポートへの印加電圧は0-3.3Vを基本としてください。これを超える電圧は内部で3.3Vにクランプされます。 実際の動きは、カスタマイズ仕様によります。
10	外部電源入出力ポート	電源および同期パルスルー	Molex 35977-04 JST VHR-4N	左端より 1:GND 2:DC OUT 3:GND 4:DC IN	DC OUT最大出力4A DC INと、電源ポートとは内部で繋がっています。 DC OUTは本体の動作に合わせて出力がOn/Offされます。
11	スピーカーポート	スピーカー出力	Molex 50-57-9404 JST RE-L04	右より 1: RIGHT + 2: RIGHT - 3: LEFT + 4: LEFT -	2W+2W@4ohm これを超えるスピーカを接続すると音が歪んだり、本体が故障することがあります
12	オーディオポート	アナログステレオライン出力	RCAプラグ	白:左音声 赤:右音声	
13	コンポジットビデオポート	標準 A/V コンポジット出力	RCAプラグ		NTSC信号
14	VGA/コンポーネントポート	VGA出力およびコンポーネント信号出力	高密度D-Sub15ピンオス	VGA:標準 コンポーネント信号 1: Pr 2:Y 3:Pb 6, 7, 8:GND	VGA,コンポーネント信号の切り替えは、リモコンを用いて行います。 VGA出力解像度640x480,1280x720 コンポーネント出力解像度 480P,720P,1080i コンポーネント出力を利用するにはオプションのBP-VADPTが必要です。
15	HDMIポート	HDMI出力	HDMI TypeA	標準	480P,720P,1080i,1080P HDCP非対応
16	電源ポート	電源	5.5/2.1プラグ	センタープラス	DC 12V 本体のみ動作させる場合には、標準添付のACアダプタあるいは、1A以上の容量の電源を接続することを推奨。 外部電源入出力ポートを利用し外部装置の電源供給も行う場合はその分も考慮した容量の電源を接続すること。 外部電源入出力ポートのDC INと内部で接続されています。

番号はページ9の各部の説明で説明している番号

## 外部電源入出力ポート接続について

**BPOPer8** の外部電源入出力ポートは、ひとつの AC アダプタで、**BPOPer8** 以外の周辺機器を同時に駆動することで、コンセント周りをすっきりさせる目的と、コネクタの持つロック機能を利用し通常の丸型 DC プラグでは緩みが気になる場所での使用のために用意されています。

外部電源入出力ポートの入力部分(3,4 番ピン)は、丸型ピンの電源ポートと内部で直接繋がっています。これら二つのポートに同時に AC アダプタを接続することはおやめ下さい。なお、十分な知識の元丸型ピンと入力部分の同時利用は可能です。

外部電源入出力ポートの出力部分(1,2 番ピン)は、**BPOPer8** 本体の動作状態と連動して出力されます。

**BPOPer8** の電源スイッチが”ON”にあつて、設定タイマー時間内の場合、出力部分より電力が出力されます。なお、タイマー設定を行っていない場合は常時出力されますが、本体が動作を開始してから再生準備が整うまでの間は出力されません。メディアのコンテンツ数が多い場合には、この時間が長くなります。

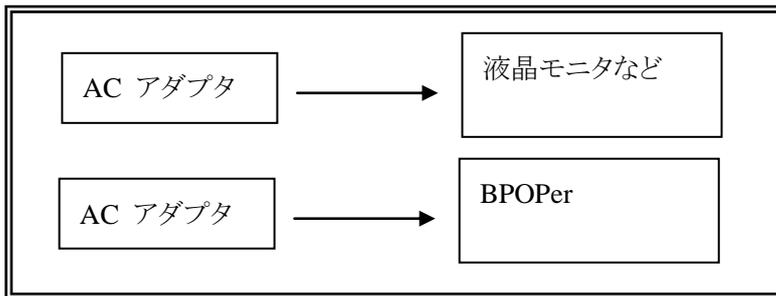
外部電源入出力ポートから出力される電圧は、**BPOPer8** に入力される電圧と同じで出力電流は最大 4A までとなります。

**BPOPer8** の AC アダプタ(一般標準出荷パッケージの物)を利用する場合、スピーカーを接続せず、コントロールポートを使用しない場合 0.5A 以下小電力機器を駆動する場合に限り使用可能です。スピーカーを接続して使用する場合、標準 AC アダプタ利用に置いては、この外部電源入出力ポートに負荷を接続してはいけません。必要に応じて別途 AC アダプタをご用意下さい。

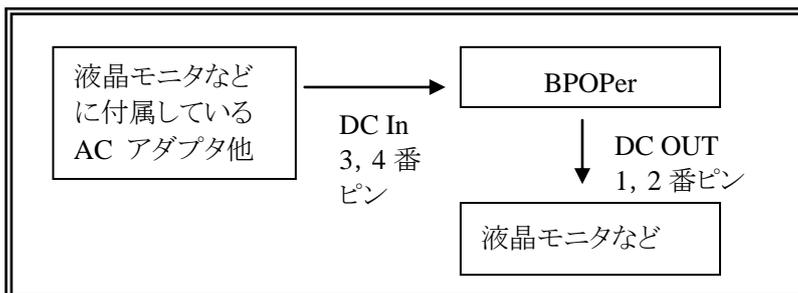
液晶モニタの AC アダプタを利用して **BPOPer8** も同時に駆動したい場合は、その AC アダプタが DC12V の仕様であることと、AC アダプタに 6W (スピーカ接続時は 12W) 以上の電力余裕があることを確認の上利用ください。余裕のない状態で使用すると、アダプタが破裂したり、火災を起こしたりすることがあります。

外部電源入出力ポートを利用するには、オプションの BP-POWER8 を使用するか、ケーブルを自身でご用意下さい。

### 標準形式



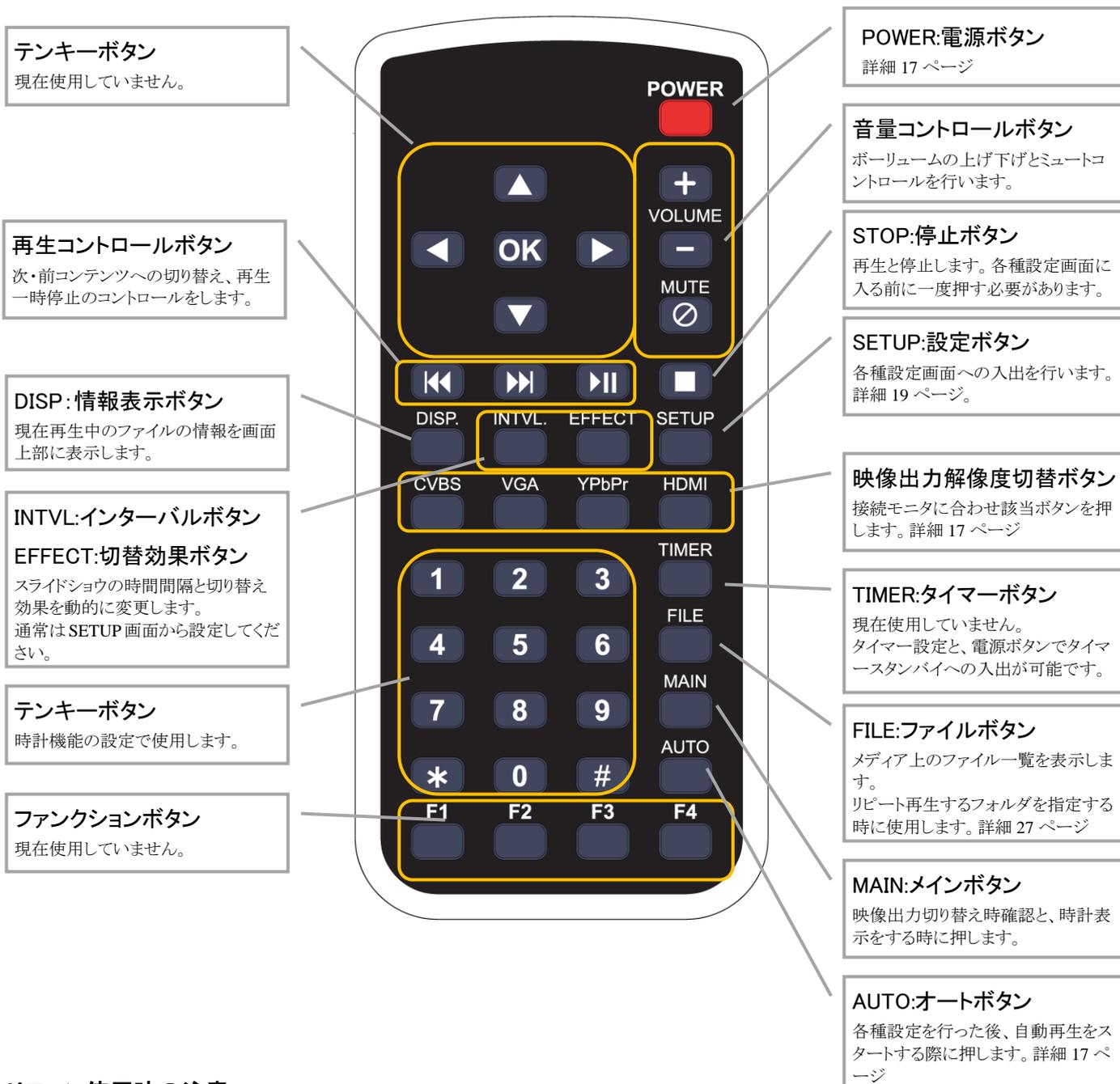
### DC パススルー利用形式



AC アダプタの出力電流余裕が最低 6W 分あることを確認ください。アンプ出力の必要なスピーカーを BPOPer8 に接続して使用する場合は 12W 分の余裕が必要です。

## 5. リモコン

本体付属の赤外線リモコン上の表記とその機能は下記の通りです。**BPOPer8**は基本的に各種設定の上で自動運転を目的としています。このため、これらの設定ボタン類以外の各種ボタンの再生途中における動作はその時の他の設定状態により意図したとおりに動作しないことがあります。



### リモコン使用時の注意

- リモコンは、液体のかかる場所や、熱、衝撃、振動のあたる場所から避けてお使いください。
- リモコンの伝達距離が短くなったと感じたら電池を交換してください。
- 電池が弱くなったときや、長時間使用しないときは、取り外してください。放置したままにしておきますと液漏れの原因となります。
- 電池を正しく装着しないと故障の原因となります。

## POWER:電源ボタン

主電源スイッチを入れると、タイマースタンバイ時間内でない限り起動します。

タイマースタンバイ中に押すと、強制的に起動させることができます。

起動中に押すと、スタンバイ状態になりますが、この時、有効なタイマー設定があると、それに従い次の起動時間に自動起動します。

## AUTO:オートボタン

各種設定を行った後、自動再生をスタートする際に押します。

CONTROLLER-PROGRAM モードが有効な状態では、このボタンを押しても再生開始されません。この場合は電源を入れ直してください。

## 映像出力と解像度の切り替え

**BPOPer8** の、コンポジット、アナログ RGB (VGA)、コンポーネント、HDMI の多様な映像出力とそれを切り替えるには、リモコンの CVBS, VGA, YPbPr, HDMI のボタンを使用します。

これらの切り替えは、メディアを抜いた状態で行ってください。

## 各ボタンと出力解像度の切り替わり

ボタン	映像出力	解像度の切り替わり。 繰り返し押すことで、順次繰り返し設定されます。	メイン画面左上の表示	備考
<b>CVBS</b>	コンポジット (黄色の RCA コネクタ)	1 種類のみ。VGA640x480 同時出力	<b>Composite</b>	
<b>VGA</b>	アナログ RGB (D-Sub15 ピン)	640x480 (コンポジット同時出力) 1280x720	<b>VGA 640x480/Composite</b> <b>VGA 1280x720</b>	モニタによっては、これらの出力に対応していないものがあります。
<b>YPbPr</b>	コンポーネント D-Sub15 ピン +BP-VADPT (オプション)	480P (コンポジット同時出力) 720P 1080i	<b>YPbPr 480P/Composite</b> <b>YPbPr 720P</b> <b>YPbPr 1080i</b>	オプションの BP-VADPT ケーブルが必要です。
<b>HDMI</b>	HDMI	480P (コンポジット同時出力) 720P 1080i 1080P	<b>HDMI/YPbPr 480P/Composite</b> <b>HDMI/YPbPr 720P</b> <b>HDMI/YPbPr 1080i</b> <b>HDMI 1080P/YPbPr 720P</b>	コンポーネントの同時出力時には、BP-VADPT ケーブルの接続において PbPr を入れ替える必要があります

- HDMI の出力を利用するには、HDMI ケーブルが正しく接続されていることを確認して下さい。起動後の装着や抜き取りは表示動作に支障をきたすことがあります。
- HDMI 出力を利用するときは必ず VGA ケーブルを抜いてください。双方が正しく表示されなくなります。
- HDMI ケーブルが正しくモニタに接続されていないと、HDMI ボタンを押しても”HDMI disconnected”のメッセージが表示されます。
- HDMI ケーブルが装着されている状態で、CVBS, VGA, YPbPr の各ボタンを押しても、”HDMI connected”のメッセージが表示され、それらのボタンを受け付けません。
- HDMI 1080P モードは **BPOPer8** 内部で一旦 720P モードとして伸長を行い、その後 HDMI 出力段において 1080P 信号に伸長して出力するものです。このため、実解像度としては、1080i が最も高精細となります。
- 1080i モードはインターレース出力となります。接続するモニタが I/P 変換機能を持たない場合ちらつきを感じることがあります。ほとんどの TV モニタでは、I/P 変換機能を持っていますが、多くの PC モニタでは I/P 変換機能を持っていませんのでこの解像度を選択する際にはモニタ選定にご注意ください。

## BPOPer8

- HDMI 出力と YPbPr(コンポーネント)出力を同時利用される場合は、BP-VADPT ケーブルの Pr(赤)と、Pb(青)のケーブルを入れ替えて接続ください。
- 各出力の 480P 解像度では、コンポジット信号を同時に利用することができます。HDMI、YPbPr と接続することにより最大で 3 つのモニタに対して同時出力することができます。

## 6. 各種設定

**BPOPer8**には多彩な動作を設定できるセットアップメニューが用意されています。

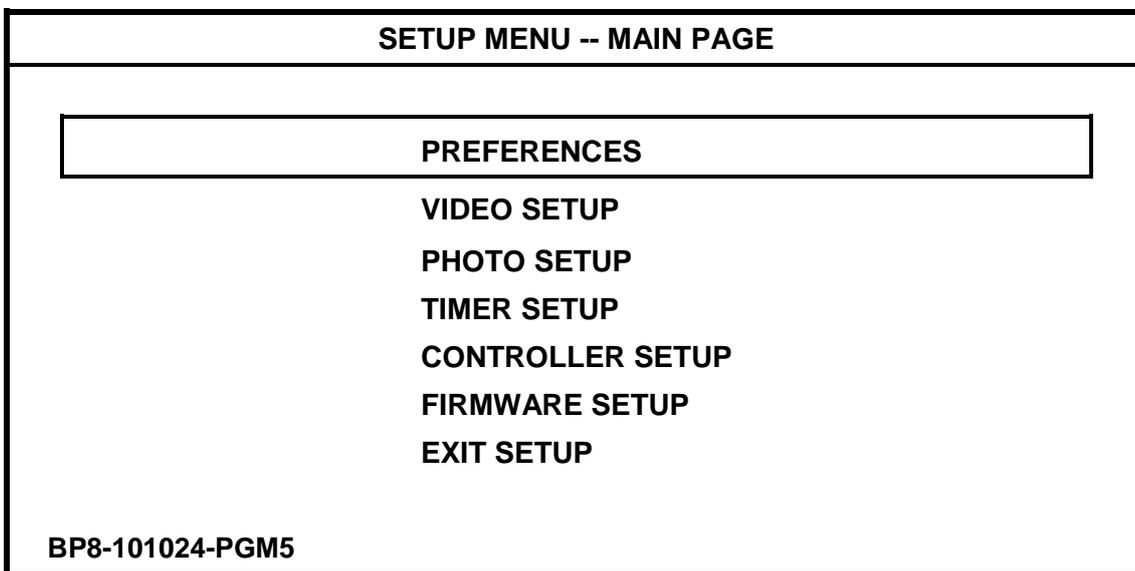
セットアップメニュー内では、リモコンの矢印キー(△,▽,◀,▶)および **OK** で設定が行えます。

※ファームウェアバージョンが異なると、ここでの説明画面と異なる内容であったり、デフォルト設定が異なることがあります。以下の説明とお使いの装置の画面と異なる場合は販売店にご相談ください。

### SETUP MENU – MAIN PAGE

リモコンの **SETUP** ボタンを押すと下の **MAIN** ページが表示されます。

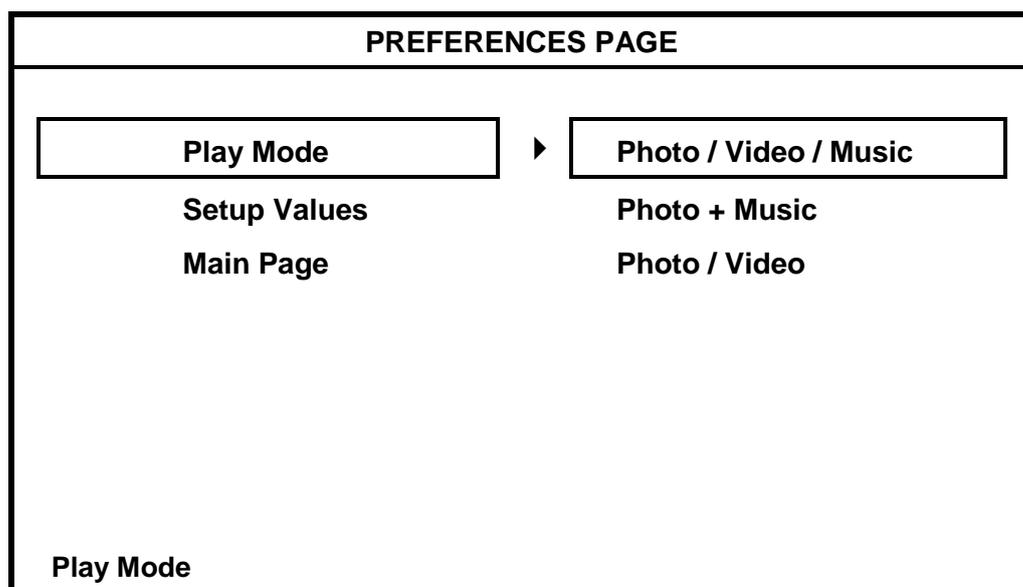
自動再生途中では、すぐに表示されないことがあります。■停止ボタンを一度押し、自動再生モードを解除してから押してください。



セットアップメニューに入った直後の **MAIN** ページ左下には、ファームウェアバージョンが表示されます。

これ以外にも **FIRMWARE SETUP** から、ファームウェアバージョンを確認することができます。

## PREFERENCES メニュー



**Play Mode** は電源 ON 時のファイル再生方法を指定します。

**Photo/Video/Music** は電源 ON による全ての再生可能コンテンツをリピート再生します。

**Photo + Music** は静止画スライドショー再生で同時に音楽を BGM 的に再生します。

※INTERVAL TIME と TRANSITION の設定は反映されます。

※音楽ファイルは MP3 をご利用ください

※動画ファイル (MPEG1/2) と WAV は無視されます

※フォルダーリピートでは動作しません

※プログラムモードでは利用できません。

**Photo / Video** は静止画と動画を順番に再生します。

※静止画においては INTERVAL TIME と TRANSITION の設定は反映されます。

※音楽ファイル (MP3/WAV) は無視されます

※フォルダーリピートでは動作しません

デフォルトは **Photo/Video** です。

再生の順番については、*再生ファイルの順序*について(4 ページ)を参照してください。

**Setup Values** は選択肢である Reset を押すことで各種設定を工場出荷時設定に戻します。

## PHOTO SETUP メニュー

PHOTO SETUP PAGE	
Interval Time	▶ 1 Second
Transition Mode	3 Second
Main Page	5 Second
	10 Second
	30 Second
	60 Second
	90 Second
PHOTO SETUP PAGE	

**Interval Time** は、静止画の切り替わる時間間隔を指定します。

選択肢は 1SECOND, 3 SECONDS, 5 SECONDS, 10 SECONDS, 30 SECONDS, 60 SECONDS, 90 SECONDS です。デフォルトは、5 SECONDS です。JPEG 画像の大きさにより、設定時間間隔通りに切り替わらないことがあります。

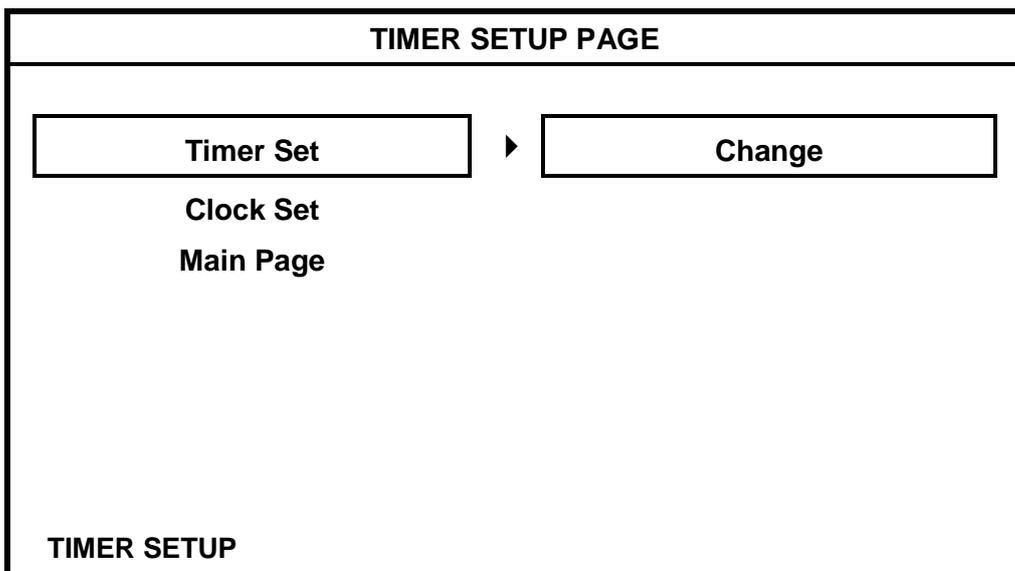
**Transition Mode** は静止画の画像の切り替わり方を変更します。実際に動作させてみて最適なものを選んでください。選択肢は、

選択肢	動作
FULLSCREEN	全画面を一気に切り替えます
TOP->BOTTOM	上から下へ降りてきます
BOTTOM->TOP	下から上へ上がってきます
T/B->CENTER	上下から中央へ挟むように切り替わります
CENTER->T/B	中央から上下へ広がるように切り替わります
BLIND:T->B	上から下にブラインドのようにいくつかのスリットで切り替わります
LEFT->RIGHT	左から右に切り替わります
RIGHT->LEFT	右から左に切り替わります
L/R->CENTER	左右から中央に挟みこむように切り替わります
CENTER->L/R	中央から左右に広がるように切り替わります
IMPLODE	四隅から中央に挟むように切り替わります
BLIND:L->R	左から右に縦のブラインドのようにいくつかのスリットで切り替わります
CROSSFADE	全体がゆっくりと切り替わります。
RANDOM	上記 13 種をランダムに使用します。(デフォルト)

デフォルトは、RANDOM です。

YPbPr/HDMI 1080i モードでは Transition Mode の選択はできません。常に FULL SCREEN と同じ切り替わりパターンとなります。

CrossFade は CVBS および VGA, YPbPr, HDMI の 480P モードでのみ選択可能です。

**TIMER SETUP** メニュー

**TIMER SETUP** は、内蔵カレンダー時計の設定や自動運転の時間設定を行います。

## 設定時刻に関する共通事項

- 時刻は 24 時間方式で、00:00 から 23:59 までの時刻設定が行えます。
- 時刻設定は、**△**キーと**▽**キーを用いて設定し、前後のフィールドに移るには、**◀**キーと**▶**キーを使用します。
- **△**キーと**▽**キーを用いて時刻設定をした後、必ず **OK** ボタンを押してください。
- 時刻設定に置いては、数字キーでの直接入力と、**△**キー**▽**キーが利用可能です。長押しも受け付けます。

## Timer Set

Timer Setup Page						
Timer Set						
Blk		Start		~	Stop	
1	O	9	: 00	~	11	: 00
2	O	11	: 00	~	13	: 15
3	X	13	: 30	~	17	: 00
4	O	19	: 00	~	22	: 00
5	X	00	: 00	~	00	: 00
6	X	00	: 00	~	00	: 00
7	X	00	: 00	~	00	: 00

1 日を7つの時間帯ブロックに分け、それぞれの稼働時間の指定を行います。

### 設定時刻に関する事項

- 該当タイマーセットを使用たくない場合は、Blk 番号の右横の○×にて設定します。(○:有効、×:無効)
- CLEAR を選択することでデフォルト(全てのタイマーセット無効)に戻ります。
- Start と Stop が同時刻設定の場合は×(無効)同様となります。
- ON 時刻と OFF 時刻で 1 セットです。
- 時刻設定後は、必ず OK ボタンを押して設定内容を確定させてください。
- Start 時間になるとメディア上のすべての再生対象ファイルを仕様に従い順次再生を行い、またそれをループ再生します。
- 時刻設定確認だけの場合は EXIT ボタンを押してください。

### 設定の注意

タイマー待機時間中に液晶を ON し、設定時刻変更等を行った場合は必ず OK ボタンを押し、設定変更内容を確定してください。EXIT ボタンで抜けた場合、変更内容は無効となります。

内蔵カレンダー時計およびタイマー設定は、内蔵バッテリーによりバックアップされています。バッテリーの寿命は、電源が抜かれたままの状態や、電源モードスイッチが”OFF”の位置のままの状態です。バッテリーが低下してくると時計が正常に動作しないことや、設定が消えます。バッテリー交換は、本体ケースを開ける必要がありますので販売店に相談ください。

また、**PREFERENCES – SETUP VALUES – RESET** を実行すると、タイマー設定も全てリセットされます。

## Clock Set

Real Time Clock Setup Page																																																							
Date and Time																																																							
Year	Month	Day	Hour	Minute	Second																																																		
2010	/	10	/	24	12	: : <span style="border: 1px solid black;">34</span> : <span style="border: 1px solid black;">56</span> <span style="border: 1px solid black;">OK</span> <span style="border: 1px solid black;">EXIT</span>																																																	
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>Sun</th> <th>Mon</th> <th>Tue</th> <th>Wed</th> <th>Thu</th> <th>Fri</th> <th>Sat</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat																																																	
					1	2																																																	
3	4	5	6	7	8	9																																																	
10	11	12	13	14	15	16																																																	
17	18	19	20	21	22	23																																																	
24	25	26	27	28	29	30																																																	
31																																																							
Please enter new year																																																							

内蔵カレンダー時計の時刻設定を行います。

年、月、日、時、分、秒の指定を行い **OK** ボタンを押すことで指定した時刻に内蔵カレンダー時計が設定されます。

時刻設定確認だけの場合は **EXIT** ボタンを押してください。 **SETUP MENU** に戻ります。

画面下部のカレンダーは年月日の変更に合わせて自動的に切り替わります。

## CONTROLLER SETUP メニュー

CONTROLLER SETUP PAGE	
Controller Mode	▶ OFF
Program restart	Program
Main Page	
CONTROLLER SETUP	

**Controller Mode** は、コントローラ入力に対しての動作モードを選択します。5 入力のプログラムモードを使用する場合は、**Program** を選択します。デフォルトは、**OFF** です。

プログラムモードの詳細はプログラムモードの利用(29 ページ)をご覧ください。

**Program Restart** はトリガーが入力されて指定コンテンツ再生が始まった後、同じまたは別のトリガーが入力された時にその入力を許可するか指定します。

YES を指定すると、再生途中で何回でも全てのトリガー入力を受け付けます。

NO を指定すると、指定フォルダのコンテンツの全ての再生が終わるまでトリガー入力を受け付けません。

デフォルトは YES です。

## FIRMWARE SETUP メニュー

FIRMWARE SETUP PAGE	
Firmware Version	▶ BP8-101024-PGM5
Main Page	
FIRMWARE SETUP	

**Firmware Version** は、現在のファームウェアのバージョンを表示します。  
ここ以外にもセットアップメニューに入った直後の右下での表示での確認もできます。

## 7. ファームウェアの更新方法

### ご注意

不要なファームウェアアップデートは避けてください。  
アップデート処理中は電源を切っては行けません。  
アップデート前に使用中のモニタに正しく表示がされることをご確認下さい。  
更新中の状態を確認するためにモニタ接続が必要です。  
ファームウェアの更新に失敗すると本体は再起動できなくなり、修理が必要になります。(有償修理)  
ファームウェア更新後は、必ず 20 ページの **PREFERENCE – SETUP VALUES** を選択し、工場出荷時設定を呼び出してください。これをしなると、動作が不確定になることがあります。

次の方法でファームウェア更新作業が可能です。

ファームウェアファイルを **bp8-fw.rom** というファイル名で SD メディアのルート上に保存し、電源 OFF 状態の本体に、その SD メディアを装着し、電源 ON で起動してください。起動後に自動的に **Firmware Upgrade** の画面が起動します。リモコンのカーソルキーで **YES** を選択し決定キーを押しますと自動でファームウェア更新作業が始まります。作業が終了しますと本体 LED が緑と橙で交互に点滅します。電源を OFF にし SD カードを取り外してください。

ファームウェア更新作業後は直ちに次の作業を継続して行ってください。

再起動後 **PREFERENCE – SETUP VALUES** を選択し、一旦工場出荷時設定にする必要があります。この後に必要な各種設定を行ってください。**PREFERENCE – SETUP VALUES** を選択しないまま動作させると古いファームウェアに対する設定情報との競合から意図しない動作をすることがあります。

ファームウェアの更新で内蔵カレンダー時計がリセットされることはありませんが、タイマー設定は上記 **PREFERENCE – SETUP VALUES** の後に再度行ってください。

## 8. フォルダーリピートの方法

下記の特定フォルダ指定での再生を行っていない限り、本体は電源オンでメディア上のすべての指定再生対象ファイルを仕様に従い順次再生を行いまたそれをループ再生します。

特定のフォルダ内のファイルのみを再生したい場合は

**FILE** ボタンを押し、**ROOT** を表示させます。

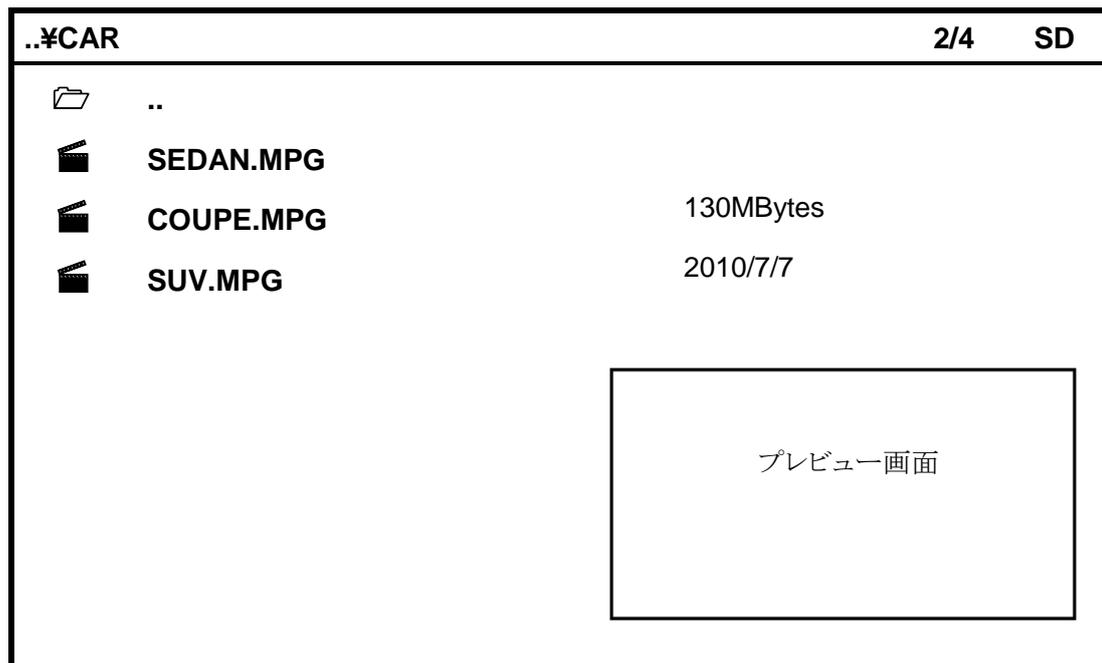
ここで、**△V(上下)**キーを押し再生したいフォルダを選択し、**OK** を押します。

再生フォルダ指定を行う場合、再生モードの指定は無効となり、フォルダ内において **ALL** と同じ動作をします。

**Photo + Music** や、**Photo / Video** としての動作はしません。

ROOT		2/8	SD
<input type="checkbox"/>	ROOT		
<input type="checkbox"/>	CAR	3 Files	
<input type="checkbox"/>	COFFEE		
<input type="checkbox"/>	CONCERT		
<input type="checkbox"/>	HAIR		
<input type="checkbox"/>	LOAN		
<input type="checkbox"/>	NOODLE		
<input type="checkbox"/>	SHAMPOO		

指定したフォルダの内容が表示されます。



ここで、フォルダ内のファイルの一つを選んで **OK** ボタンを押すと、そのフォルダ内で指定したファイルから順にループ再生が開始されます。

全ファイルを対象としてループ再生を行いたいときは、上記の **OK** ボタンを押す代わりに **FILE** ボタンを押してください。または、電源を入れなおしてください。

※3 階層以上のサブフォルダにおける動作は保証されません。

### 設定の注意

タイマー待機時間中に液晶 ON を行い、File ボタンを選択後、再度 File を押しても次のタイマーオフ指定時間までタイマー待機状態にはなりません。すぐに再度タイマー待機状態に入るには、液晶 ON/OFF ボタンを押します。

## 9. プログラムモードの利用

**BPOPer8** に装備されている、外部コントロールポートに単純なスイッチと一般的な抵抗を接続するだけで再生コンテンツの切り替えを行うことができます。

スイッチは 5 点まで接続でき、デフォルトループ再生のコンテンツと、各スイッチ入力に対するコンテンツを分けてメディアに用意することでスイッチが押されるごとにコンテンツの切り替えと再生終了でのデフォルトループへの戻りが行われます。

再生コンテンツは単一ファイルでなく、ルールに則ったフォルダ名に自由にファイルを配置するだけで、複数のコンテンツを柔軟に再生できます。

スイッチは、単純なオープン・ショートとなる接続で使用しますが、受け付ける使用現場によりデフォルトの状態がオープンであったり、ショートであったりと異なります。**BPOPer8** はコンテンツ切り替えのトリガーを、オープン→ショート、ショート→オープンのどちらの切り替えタイミングで行うかもフォルダ名のみで指定できます。

オープン→ショート、ショート→オープンのどちらも別々のコンテンツとなるよう対応させることも可能です。

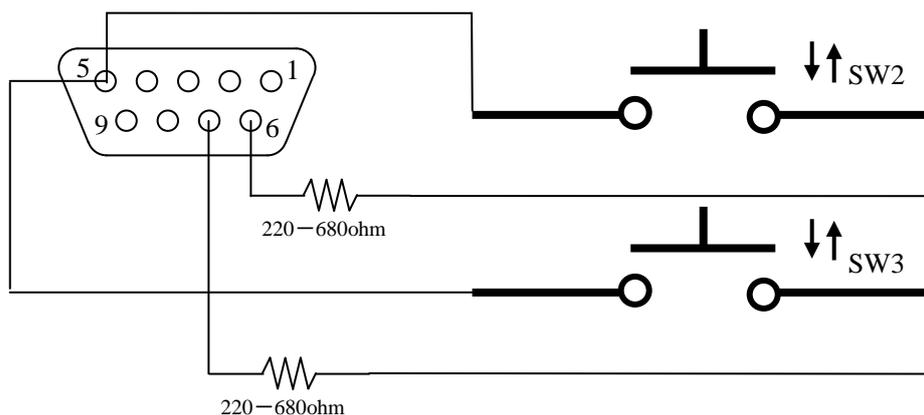
### スイッチの接続

外部コントロールポートの 5 番ピンは GND 信号で、各スイッチの一方を共通で接続します。

	外部コントロールポートのピン番号
SW1	4 番 - 5 番
SW2	6 番 - 5 番
SW3	7 番 - 5 番
SW4	8 番 - 5 番
SW5	9 番 - 5 番

上記以外のピンには接続しないでください。

例: SW2, SW3 の接続イメージ



- 外部コントロールポートのコネクタは D-SUB 9 ピンメスです。**D-SUB 9** ピンオスコネクタをご用意ください。
- **4,6,7,8,9** 番ピンには**抵抗の装着**が必要です。抵抗は 220~680ohm の範囲で任意ですが、ケーブルが細い場合や長い場合は大きめの数値のものを使用ください。なお、**この抵抗の装着は必須です。抵抗を装着しないと、BPOPer8 が壊れることがあります。**

**抵抗は、D-SUB9 ピンコネクタ側に装着ください。**ケーブルを挟んでスイッチ側に装着しても効果が十分でなくなります。

- 接続ケーブル長は、20メートルまでです。ノイズの多い場所での使用ではシールドケーブルを使用下さい。

使用するスイッチは、モーメンタリー（押して離すと元に戻る。押している間だけオンまたはオフとなる）タイプでも、オルタネート（押すと状態をオンまたはオフ状態を保持し、再度押すと戻る）タイプやスライドスイッチの何れも使用できます。



## 重要

電源オン時には必ずデフォルトの P0 フォルダが動作し、その後のユーザ指定のスイッチ状態の切り替わりが発生するまでコンテンツの切り替わりは発生しません。特にオルタネートタイプやスライドスイッチタイプでの使用にはご注意ください。

## フォルダ名のきまり

使用するコンテンツ自体のファイル名は、拡張子を除き 59 文字までで自由（2 バイト文字非推奨）ですが、フォルダ名については以下の通りである必要があります。

デフォルトループ再生用 P0 （大文字の 'P' と数字の '0'）

スイッチ	トリガー	
	オープン→ショート	ショート→オープン
SW1	P1 （大文字の 'P' と数字の '1'）	P1H （大文字の 'P' と数字の '1'、大文字の 'H'）
SW2	P2	P2H
SW3	P3	P3H
SW4	P4	P4H
SW5	P5	P5H

- 全てルートディレクトリに配置する必要があります。
- 以下で指定するフォルダにさらにサブフォルダを設定することはできません。
- デフォルトループ用の P0 フォルダは必須ですが、全てのフォルダを用意する必要はありません。使用したいスイッチに対し、使用したいトリガー動作に対応するフォルダのみ用意してください。
- メディア内に上記以外のフォルダ名が存在しても構いません。

## 制限事項

Photo+Music のモードには対応していません。

チャタリング防止機能により、非常に短時間のスイッチの切り替わりは無視されます。

動画再生時にキー入力があると、それまで再生していた動画の最後の部分が若干巻き戻すイメージとなってから画面が切り替わることがあります。

プログラムモードが有効な状態では、セットアップ画面や、ファイルメニューなどに一旦入ると、それらを抜けても自動で再生はされません。電源の再投入を行ってください。リモコンの電源ボタンを押す（2 回）でも可能です。2 回目は本体 LED が点滅するのを確認してから押してください。

## 10. トラブルシューティング

### 警告

理由の如何を問わず、ご自身で修理しようとしたりして、本体の蓋をあけたりすると、保証の対象外となりますのでお気をつけください。本体を修理に出す前に、まずは、次の点を確認してください。下記の通りに行っても直らない場合は、お買い上げ頂いた販売店または弊社にお問い合わせください。

問題	解決方法
映像が表示されない	<p>電源は正しく接続されていますか？</p> <p>電源モードスイッチが <b>ON</b> の状態で正常に映る場合は、タイマーの時刻設定をご確認下さい。</p> <p>電源スイッチの <b>ON &lt;-&gt; OFF</b> の切り替えはゆっくりと行ってください。</p> <p>出力モードがご利用のモニタにあってない可能性があります。リモコンの映像出力切り替えボタンを押して出力モードを切り替えてください。</p> <p>メディア挿入ロックがかかるまで十分にメディアを押しこまなかったりなどで、メディアの抜き差しが短時間で繰り返された場合は、電源を入れ直します。</p>
音楽を聴くことができません	<p>リモコンによるボリューム設定、MUTE 設定を確認してください。</p>
リモコンが正しく動作しません	<p>電池が正しく装着されていないことがあります。</p> <p>電池を交換してください。</p> <p>リモコンの赤外線発射部分を本体の受光部に向けて見てください。</p>
メモリーカード上のファイルを再生・表示することができません。	<p>パソコン上でスキャンディスクを実行してみてください。</p>
<b>NO DISC</b> と表示されます	<p>SD カード/USB メモリが正しく装着されていません。</p> <p>あるいは、メディアの故障が考えられます</p>

BPOPer8 取扱説明書  
BP8-101024-PGM5 用  
BP8-B  
Ver.1.4 2011年1月  
IOSS International Co.,Ltd